

伊賀上野城下町の晩秋を彩る 神輿・鬼・だんじり 行列

ユネスコ無形文化遺産「山・鉦・屋台行事」
ほこ

上野天神祭

フォトレポート

10月18日(金)～20日(日)、伊賀地域最大の秋祭りである上野天神祭が行われました。

上野天神宮の神輿行列、華やかなだんじり行列や、百数十体からなる鬼行列を見物する人で沿道はにぎわい、3日間で県内外から約17万人が訪れました。

【写真解説】

①9つの町のだんじり9基が連なり巡行する。②・⑤斧を担いだ斧山伏 ③鬼退治の伝説をもつ武将・鎮西八郎為朝の凱旋を模した行列 ④四天（持国天・増長天・多聞天・広目天）の行道面 ⑥釣鐘を背負った「ひよろつき鬼」。前後左右によるめきながら進む迫力に、なかには泣き出す子どもたちも。⑦役行者列の先頭に立つ真蛇（悪鬼）⑧神輿行列の女みこし ⑨こどもたちが務める面無小鬼 ⑩鉦や笛で優雅なお囃子を奏でるだんじり

